

地方創生の取組に係る数値目標の進捗状況について

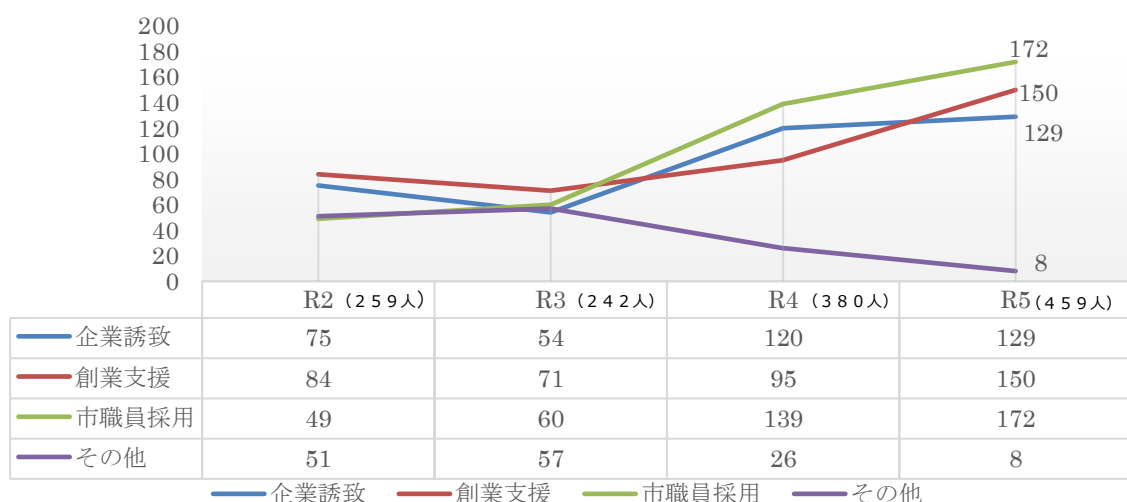
数値目標	国の「まち・ひと・しごと」 創生総合戦略」における基本目標	令和5年度の実績	備考
■ 新規雇用創出数 《累計》 ⇒令和6年までに、 3,000人以上	【基本目標1】 稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする	令和5年度：459人 〔内訳〕 企業誘致によるもの ：129人（過去誘致分を含む） 創業によるもの ：150人（創業者を含む） その他：180人 （米子市職員採用によるもの他）	【参考値】 数値目標策定時の 平均(H27~H30年) ：493.5人
	まちづくりビジョンの 基本方向の主なもの		
	4-1 地元企業の振興と地域 産業の活性化 4-3 企業誘致の推進		

今後の方向性

新規雇用数については、前年度と比べて79人増加し、令和2年以降最も多い人数となった。特に、年間新規企業者数の増加により創業に伴う雇用者数（創業者含む。）が増加しており、登録免許税軽減措置や国の補助制度の拡充等、創業支援策が充実したことにより、創業件数及び創業相談件数が増加したと考えられるため、引き続き、支援を行っていく。

また、企業誘致活動において最も重要となる産業用地の整備については、企業ニーズの把握を行いつつ、新たな候補地選定を進め、新規雇用創出を図る。

雇用創出数（R2～R5）



数値目標	国の「まち・ひと・しごと」 創生総合戦略」における基本目標	令和 5 年度の実績	備考
■人口の社会増減 《年間》 ⇒令和 6 年において 転出入の均衡	【基本目標 2】 地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる	令和 5 年度：△128 人 [内訳] 転入総数：4,825 人 転出総数：4,953 人	【参考値】 数値目標策定時の平均 (H27~R1 年) : △53.8 人
	まちづくりビジョンの 基本方向の主なもの		
	4-12 シティプロモーションの推進と関係人口の拡大 4-13 移住定住の促進		



今後の方向性
<p>令和 5 年の社会増減については、前年と比べ、転出超過数が 119 人増加し、128 人の転出超過となった。傾向としては、特に大都市圏への転出超過が進んでおり、「その他」の社会増減△215 人の内訳としても、福岡県△75 人（前年△30 人）、京都府△64 人（前年△34 人）、愛知県△32 人（前年△6 人）等となっている。</p> <p>引き続き、国・県の動向に注視するとともに、シティプロモーションの推進、関係人口の拡大・濃密化、移住定住の促進等に取り組むことで、人口の社会増減の均衡をめざしていく。</p>

(参考)米子市における社会増減推移

(単位：人)

区分	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年
県内合計	181	348	147	226	232
県外合計	-393	-107	-140	-235	-360

県外合計の内訳

(単位：人)

区分		令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	区分		令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年
関東	東京	-61	-124	-124	山陽	岡山	2	43	-14
	埼玉	-1	-25	10		広島	18	-41	-18
	千葉	-18	-10	-63	小計	20	2	-32	
	神奈川	-35	-17	-11	島根	171	70	75	
小計	-115	-176	-188	外国	14	126	106		
関西	大阪	-115	-81	-81	その他	-77	-158	-215	
	兵庫	-38	-18	-25	県外合計	-140	-235	-360	
小計	-153	-99	-106						

数値目標	国の「まち・ひと・しごと」 創生総合戦略」における基本目標	令和5年の実績	備考
■ 出生数 《年間》 ⇒令和6年において、 1,400人以上	【基本目標3】 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	令和5年：1,073人 資料：鳥取県人口異動調査 (R5.1～R5.12)	【参考値】 数値目標策定時の平均 (H27～R1年) : 1,352人
	まちづくりビジョンの 基本方向の主なもの		
	3-1 在宅育児支援の充実 3-2 待機児童の解消と子育て支援の充実		



今後の方向性
<p>出生数については前年から109人減となり、平成27年以降最も少ない数値となった。出生数の減少は、未婚・晩婚化、合計特殊出生率の低下など、様々な要因が絡み合っており、今後数年間は「異次元の少子化対策」による集中的な取組が見込まれており、本市においても国の動きに注視するとともに、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを行うほか、子育て支援の充実による子育ての負担軽減など総合的な取組を推進する。</p>

数値目標	国の「まち・ひと・しごと」 創生総合戦略」における基本目標	令和5年度の実績	備考
■ 中海・宍道湖・大山 圏域人口 《累計》 ⇒5年後、令和6年 において60万人以上	【基本目標4】 ひとが集う、安心して暮らすことが できる魅力的な地域をつくる	令和5年度：629,191人 [内訳] 米子市：145,121人 鳥取県西部圏域(米子市を除く) ：78,981人 松江市：199,023人 出雲市：170,927人 安来市：35,139人	【参考値】 数値目標策定時の 住民基本台帳人口 (H30年) ：65万3千人
	まちづくりビジョンの 基本方向の主なもの		
	1-1 広域的な交通基盤の整備 2-9 国県・他の自治体との連携 協力 4-7 広域連携による観光振興		



今後の方向性
<p>現在、広域連携の分野では、鳥取県西部圏域を含む中海・宍道湖・大山圏域で、市長会を中心に令和6年において、60万人以上の人口を維持することを目標に、地方創生関連交付金を活用しながら、産業・観光振興における取組を進めている。</p> <p>地域課題が、多様化・複雑化し、個々の自治体だけでは解決できない課題に柔軟に対応し、地域の維持と更なる地域の一体的な発展を図るため、引き続き、他自治体との広域的な連携協力を進めていく。</p>